

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第103号

平成29年12月1日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

科学を勉強してクリスマスを楽しもう



(べたな書き出しですが)いつもはどっしりと構えている先生でさえ走るほど忙しいという“師走”。会員の皆様の部署はいかがでしょう？

東北、北海道地方では、いきなり冬本番のような積雪となっているようです。関東地方は平地でも紅葉がきれいな季節になりました。子どもころは「花より団子」でしたが、人生を重ねると・・・重ねても、やっぱり「紅葉より団子」でしょうか（^^）



大山(伊勢原市)の紅葉(11月事務局撮影)



クリスマスの「子ども科学講座」

青少年センター科学部による事業で、クリスマスシーズンにぴったりの講座です。

子ども達は、自作のクリスマスリースやキャンドルをお土産に持ち帰りました。

11月23日(木) 勤労感謝の日

クリスマスリースを作ろう



最初に、環境に応じた様々な樹木（落葉樹、常緑樹、針葉樹）があることや、リースづくりに用いる材料（ヒラギ、ナンテン、クズなど）について、学習しました。グルーガンを使って、材料を糊付けしました。それぞれのアイデアで世界で一つだけの個性的なリースが出来上がっていきました。

11月25日(土)

クリスマスキャンドルを作ろう



材料のろうソクを溶かしている間に、科学ボランティアの高校生達が、ろうソクの歴史や種類について紙芝居を使って説明しました。参加した子ども達は、高校生の問いかけに元気に答えていました。紙芝居の後は、冷えて固まってきたろうをクッキーの型で型抜きし、雪に見立てたろうで接着しながら飾り付けをしました。

葉っぱや赤い実の配置を各自で考えながら、デザインしたリース
(直径=20~30cm)



緑色のクレヨンで色付けたろうがツリーの本体。ろうで固めたタコ糸が芯となって中心を貫通しています。
(高さ=6~7cm)



理科部研究発表大会

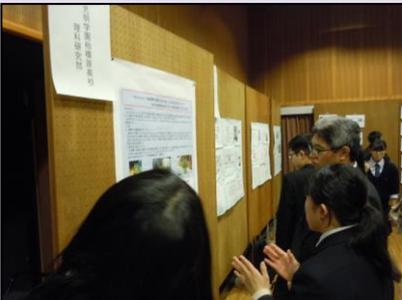
11月4日(土)、青少年センターで
神奈川県高等学校総合文化祭の



第28回理科部研究発表大会が開催されました。県内の12の高校から、理科に関係する部活動が出場し(生徒数117人)、2会場に分かれ20の研究発表がありました。審査の結果、次の賞が決定しました。(賞の授与は団体に対して一つ。複数発表校は最高得点のもの)

賞	高校	部活動	テーマ
教育長賞	県立生田	科学部	パルスジェットエンジンの研究
	県立弥栄	サイエンス部	パン酵母を用いたバイオ燃料電池の研究
高文連会長賞	中央大学附属横浜	科学部	渦電流の大きさと磁界の強さは比例するのか
	県立平塚中等	科学部	ワラジムシにおける交替性転向反応
	向上	生物部	オオフサモ帝国崩壊中なう ～見られ始めた植生の遷移～
	県立横浜修悠館	科学部	服は〇〇色を選べ!～糸の色と強度の関係～
青少年センター館長賞	県立麻生	自然科学部	食品による殺菌効果の検討
	県立横浜平沼	生物研究部	横浜市内河川の環境調査
	麻布大学附属	自然科学部	貝で電気が起きちゃった話、あおげば尊し
理科専門部会長賞(奨励賞)	神奈川学園	生物部	沢渡公園における鳥の調査V
	光明学園相模原	理科研究部	<i>Sarracenia</i> 属植物の補虫袋内液による消化作用について
	県立光陵	科学部	家庭の野菜を長持ちさせるには?

上の3校(生田、弥栄、中央大学附属横浜)が、全国大会へ推薦されました。

A会場(多目的プラザ)	B会場(研修室1)	ポスターセッション
 <p>A会場では、生物分野の研究発表がありました。すべての団体がプレゼンテーションソフトを利用して発表しました。視覚的にも見学者に興味を持ってもらうようなスライド作りに努めた様子が伺えました。</p>	 <p>B会場では、物理分野と化学分野の研究発表がありました。各団体とも、発表の持ち時間は12分、質疑応答が3分です。発表に対する質問にも、お互いに研究をしている者同士の関心の強さが伝わってきました。</p>	 <p>こちらでは、壁に貼ったポスターを利用して、高校生が研究内容について説明をしました。立体模型を持参した高校もあり、わかりやすく説明するための工夫と熱意が感じられました。</p>

事務局から



この「協議会 NEWS 92,93号」でお伝えした青少年センターの元気のない「宇宙桜」の続報です。植木の専門業者に診てもらい、施肥の後、指示どおりセンター職員で当番を作り水遣りを行ったのですが、右の写真(11月16日、事務局撮影)のように他の桜よりもかなり早く葉っぱを全て落としてしまいました(手前が、「宇宙桜」。奥の木は、紅葉が始まったばかりでまだ落葉前のヤマザクラ)。来年、元気を取り戻し、花を咲かせてくれることを祈る科学部です。

(事務局 : 村上、高相、山田、宮城)



センター開館 55 周年

